授　業　概　要

（こども保育科）

授業のタイトル（科目名）	授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と表現Ⅱ	（ 講義・ 演習 ・ 実習 ）	河村　和代	保育士

授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択
15 回	30 時間（1 単位）	2 年・前期	必修

［授業の目的・ねらい］
- 子どもの生活と表現Ⅰでの学びを踏まえ、現場での保育を見据えた演習を通して表現活動を展開していくための知識、技術、判断力を習得する。

［授業全体の内容の概要］
- 子どもの表現活動の援助・指導について学ぶ。幼児の表現活動の特徴について理解し、幼児の活動を援助する為に必要な基礎技術を身につける。また学生自身が表現遊びの計画・実践・評価ができるような参加型の授業として進める。

［授業終了時の達成課題（到達目標)］
- 子どもの表現活動は生活と密接な関係があり、保育の現場において、表現することの喜びや表現を楽しむ「態度」を培うことの大切さを知る。
- 子どもの表現活動における理論と実践について触れ、保育の現場での指導に役立つ技術を習得する。
- 自分自身が、体で様々なことを感じたり、考えたり、表したり、他者との関わりのプロセスを楽しみながら多様な活動を通して表現力を高める。

［授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法］
1. オリエンテーション
2. オペレッタ導入（オペレッタの視聴、グループ分け、役決め等）
3. オペレッタの準備①
4. オペレッタの準備②
5. オペレッタの練習③
6. オペレッタの練習④
7. オペレッタの練習⑤
8. オペレッタ・リハーサル
9. 各グループによる改善練習
10. オペレッタ実技、発表、まとめ
11. 手話ソングについて知る、歌の指導方法を学ぶ
12. グループ分け、練習
13. 手話ソングの練習
14. ミニ発表会
15. 期末試験

［使用テキスト・参考文献］
・表現の指導法（玉川大学出版部）

［成績評価の方法と基準］
教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。
・考査点(75%)
　・到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考査を実施する。
・平常点(25%)
　・事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
　・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。